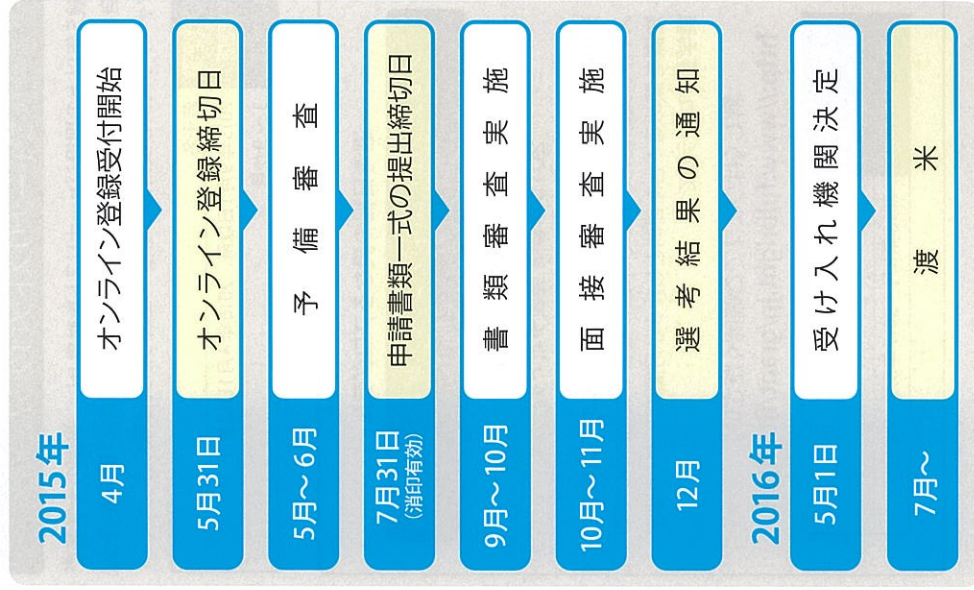


奨学金の対象となる学術分野

米国および日本、さらにはグローバル社会に関連した人文・社会科学分野および、それと直接関連した学際的な分野で、特に以下の領域の研究を奨励します。

1. 米国の研究
2. 環太平洋地域の政治・経済関係
3. 現代社会の諸問題
4. グローバル社会の課題
5. 教育

選考日程



フルブライト・プログラムについて



フルブライト・プログラムは、第二次世界大戦終了直後の1945年、「世界平和を達成するためには人と人との交流が最も有効である」との信念のもとにウィリアム・フルブライト上院議員が米国議会に提出した法案に基づいて発足した、米国と諸外国との相互理解を目的とする人物交流事業です。

日米間のフルブライト・プログラムは、日米両国の共同管理、自治運営による日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）によって運営され、所属機関・居住地・人種および信条に関係なく応募者個人の資質に基づいて選考する一般公募の奨学金制度として国際的な評価を得ています。

このプログラムは日米両国政府からの資金に加え、公益財団法人日米教育交流振興財団（1986年発足）および民間からも資金援助を受けています。

2015年度は以下の方々から奨学生一名分以上のご寄付・ご支援をいただく予定です。（アイエエオ順）

- サム・ジェームソン基金
 - 志野義治基金
 - 全日本空輸（株）（航空券の提供）
 - デルタ航空会社（航空券の提供）
 - 中川浩二基金
 - 長村滋基金
 - 三上泰永基金
 - 三菱グループ
 - （財）吉田育英会
 - ロバートG. ベーカー基金
- （2015年2月現在）



日米教育委員会（フルブライト・ジャパン）
〒100-0014
東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル207
Tel: 03-3580-3233 Email: program@fulbright.jp
f https://www.facebook.com/fulbrightjapan

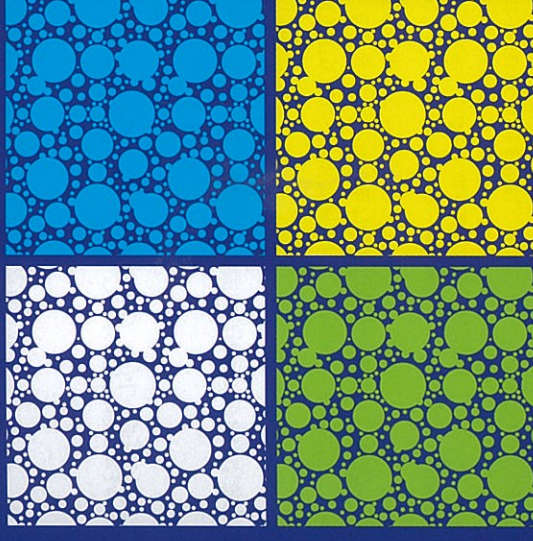
詳しくはWEBで

<http://www.fulbright.jp>

日本人対象
アメリカ留学

日米両国政府による留学制度

2016年度 フルブライト奨学生募集



オンライン登録締切日 2015年5月31日
<http://www.fulbright.jp>

FULBRIGHT
JAPAN

The Fulbright Experience for Global Leaders



給付内容

フルブライト奨学金は基本的に全額支給です。

給付内容は往復渡航費(現物支給)、生活費(留学先によって金額が異なる)、授業料(大学院留学プログラムのみ)および家賃、着後雑費、別送荷物、同伴家族に対する補助手当を含みます。さらに、疾病・障害をカバーするフルブライトグループ保険(本人のみ)が含まれます。ただし、給付内容は、両国政府から委員会に交付される資金の額、あるいは応募者個々の他の財源などを考慮に入れて調整されることがあります。



全プログラムに共通する応募資格要件

1. 日本国籍を有すること。
(日米の二重国籍者あるいは米国永住権を持つ者は応募不可)
2. 日本在住の者。
3. 米国で支障なく学術活動が行えるだけの十分な英語能力があること。また、学術的能力のみならず、高いコミュニケーション能力があること。
(注) 大学院留学(学術系学位、専門職学位)および大学院博士論文研究プログラムに申し込む場合には英語能力を証明するため、2013年6月1日～2015年5月31日実施されるTOEFLあるいはIELTSを受験し、TOEFL(iBT) 80以上、またはIELTS 6.0以上を取得し、スコアレポートを提出することが必要です。
4. 米国で研究を計画しているテーマに関する専門知識に限らず、広い視野と関心を有すること。
5. 米国で支障なく学術活動が行えるよう、心身ともに健康であること。

下記に該当する者は対象から除く。

- 勉学、研究、講義を行うためにすでに渡米中の者あるいは2016米国学年度以前に留学(語学留学を含む)を(予定)している者で、2016年度以降の学術活動を継続するための資金を当奨学金に求められている者。
- 2015年7月31日時点で、90日以上の米国留学(語学留学を含む)・研究から帰国後2年を経過していない者。
- 米国大学より学位を取得している場合は、2015年7月31日時点で、学位取得後4年を経過していない者。
- 2016年7月1日以前に、90日以上の学術目的で渡米を計画している者。



奨学金の種類

大学院留学(学術系学位)プログラム

フルブライト交流事業の目的を十分理解し、人格面および学業面で優れた若者に米国大学院での研究の機会を与える。米国の大学院博士課程・修士課程に正規の学生として在籍し、学位取得のための科目履修を通して研究を行う。

採用予定数	約20名(「大学院博士論文研究プログラム」を含む)
開始時期	2016年秋季学期
給付期間	奨学金給付期間は原則として12か月であるが、2年目に対して更新の可能性がある。3年目以降の奨学金の更新はない。

大学院留学(専門職学位)プログラム

次世代の日米関係を担うリーダーとなりうる優れた人材に米国の経営大学院などの専門職系大学院(プロフェッショナル・スクール)での研究の機会を与える。米国専門職大学院に正規の学生として在籍し、専門職学位(プロフェッショナル・ディグリー)取得のための科目履修を通して研究を行う。

専門職学位	経営学修士(MBA)、行政学修士(MPA)、公共政策学修士(MPP)、法学修士(LLM)、公衆衛生学修士(MPH)など
採用予定数	約3名
開始時期	2016年秋季学期
給付期間	1年目(12か月)は、フルブライト奨学金として日米教育委員会から支給する。2年目以降の授業料および滞在費は勤務先もしくは本人の負担。

大学院博士論文研究プログラム

若手研究者を対象とし、日本の大学に博士論文を提出することを目的として、米国の大学で単位取得を伴わない研究を行う。大学院レベルのゼミを聴講することはできるが、単位取得のための科目履修はできない。

採用予定数	約20名(「大学院留学(学術系学位)プログラム」を含む)
開始時期	2016年秋季学期あるいは2017年春季学期
給付期間	6～10か月

研究員プログラム

大学教員、政府機関あるいは非営利研究機関勤務者を対象とし、米国の大学等で各自のテーマに沿って、単位取得を伴わない研究を行う。

採用予定数	約10名
開始時期	2016年9月1日以降、2017年4月1日以前
給付期間	3～9か月

ジャーナリストプログラム

経験5年以上の現役ジャーナリストを対象とし、米国の大学等で各自の研究テーマに沿って、単位取得を伴わない研究を行う。(ジャーナリズムの技術面の研修や理論の研究は除く。)

採用予定数	若干名
開始時期	2015年9月1日以降、2016年4月1日以前
給付期間	3～9か月

選考日程の異なるプログラム

フルブライト語学アシスタント(FLTA)プログラム(実施予定)

2016年度の募集は
2015年春頃 発表予定です。

米国の大学で日本語を教えながら、自身の英語教育のスキル、英語能力、および米国の社会や文化についての知識を深めることを目的とした9か月間のアメリカ留学奨学金プログラムです。

詳しくはウェブでご確認ください。
<http://www.fulbright.jp/grant/flta.html>

募集時期(予定)	2015年4月～8月末
採用数(予定)	10名
留学期間(予定)	2016年8月～2017年5月(9か月)